



サイジャーナル

月刊
23-3・4
第396号

日本サイ科学会 平成23年3月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 <small>〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号</small> 佐佐木 康 二 <small>☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097</small>	中 部 <small>〒503-0981 大垣市松町1290</small> 山 田 哲 三 <small>☎ FAX 0584 (91) 1192</small>	北 陸 <small>〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内</small> 佐 藤 禎 花 <small>☎ 076 (234) 6634</small>	関 西 <small>〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39</small> 木 村 のり子 <small>☎ FAX 0797 (22) 6425</small>	九 州 <small>〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7</small> 金 子 輝 夫
--	---	--	--	---

四月本部例会のお知らせ

驚異のフォーク曲げ、 メンタリズム

講師 Dai go 氏

最近TVで驚異のフォーク曲げ等の技が目まされてるDai go氏のご出演です。

当会では、以前から「超能力かマジックか」という題名でマジシャンの方々の公演を行ってききましたが、今回は単なるマジシャンではなく、メンタリズムというジャンルで活躍してられるDai go氏に出ています。

彼はその技をメンタリズムと称していますが、その中には超能力的な部分が含まれていると考えざるを得ません。彼の代表的な技がフォーク曲げであり、フォークの先が複雑に絡み合うという現象を起こしてしまうのです。この不思議さに驚かない人はいません。

「メンタリズム」は、海外ではよく知られているパフォーマンスのジャンルですが、日本では全くと言っていいほど認知されていません。

ん。日本語に該当するものがないので説明が難しいのですが、わかりやすく言えば「超能力デモンストラーション」や「スピリチュアルエンターテイメントショー」といった起きのものです。

※本部例会において目の前で驚異のパフォーマンスが見られますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

● Dai go 氏のプロフィール

1986年11月22日生まれ、静岡県出身。慶應義塾大学理工学部卒、同大学院理工学研究科在籍。幼少期より、科学に興味を持ち、母親の薬学関連書籍を絵本代わりに育つ。高校生時代に不老不死に憧れ、人工的に脳を造ることを決意。慶應義塾大学理工学部へ入学し、アーティストとして活動を始める。大学で記憶材料の基礎研究に関わるが、脳そのものに興味を深まり、現在は医学部への編入を目指している。

日時 平成23年4月9日(土)

午後2時～4時30分

※開始時間は通常より遅くなりま

※3月の本部例会はお休みとなります。
また、平成23年度からサイジャーナルは正式に隔月発行となりますので、次回発行は5月1日の5、6月号となります。

今月号の記事

- ◎ 四月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 五月本部例会のお知らせ
- ◎ 創立35周年記念大会の論文募集
- ◎ 関西サイ科学会三月例会予告
- ◎ 関西サイ科学会四月例会予告
- ◎ 第13回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 第12回宇宙生命研究分科会報告
- ◎ 六月本部例会報告
- ◎ 七月本部例会報告
- ◎ 九月本部例会報告
- ◎ 第三五三回関西サイ科学会報告
- ◎ サトルエネルギー学会春の大会
- ◎ サイ現象生起の為のエネルギー条件

す。Dai go 氏のパフォーマンスと質疑応答で1時間位、後半は参加者での意見交換・討論会となります。

会場 北とびあ7階701会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

「心を科学する博物館」と

一般の御寄付御礼

(2/12受領分まで)

金二千円也 小澤 佳彦 様

五月本部例会のお知らせ

「最新脳科学と透視能力」

講師 赤松 瞳氏

(脳・認知学者)

内容…TBS最新脳科学&最強超能力ビデオ鑑賞 ロシアのクラス風景ビデオ観賞

能力デモンストレーション(透視/リモートビューイング)

例…アイマスクをつけたまま本を読む、体内霊視など

人間の脳はわずかに3~5%しか使用されていないことは広く知られています。ロシアやウクライナの脳科学研究では、未使用の脳を使用する方法の研究が進んでおり、子供から大人まで超感覚的知覚(いわゆる、超能力)を発達させる驚くべき方法論が実用化されています。生まれながらにして目の見えない子供たちに、脳の視覚視野や中脳の能力開発トレーニングにより、ある種レーダーのような代替視覚手段をもたらすことにより、全盲の人々が、目以外の感覚を使用して読み書きができるようになっていきます。

その副産物として、いわゆる千里眼(リモートビューイング能力)が身につく、肉眼以上の感覚器官で遠くのものや近くのを認知することが可能になります。セミナーで紹介するビデオでは様々なレベルの障害者が超感覚的な能力を身につけて回復している様子を紹介します。また、普通の人々にも同様の脳トレーニングにより、超能力が身についています。

ロシア・ウクライナの大学の研究によると、それらの能力を身に付けた人々は脳の使用%が多い(つまり、未使用の脳が使用されている)ことが実証されています。セミナーでは、脳の進化、それによる人類の進化についてのディスカッション、及び実際体験(例…実際に目を閉じたままイメージワークをする、感覚的にものを見る・知ることの体験など)の機会が得られます。

※本部例会において、女性の熟達したESP能力者であり、研究者の実演と講演が聞ける貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●赤松瞳氏プロフィール

1977年、北海道札幌出身。

○脳・認知学者「オーストラリア・モナーシユ大学心理学博士」

○ロシア科学アカデミー「IAHD」

日本代表

○国際前世療法学会「IART」プロフェッショナルメンバー

○プロニコフ・イースタンスクール主任講師

1990年日本大学国際関係学部を経て、心理学研究の為オーストラリアに渡る。長年にわたり、豪州、アメリカ、欧州、インドなどで心理学、潜在意識精神世界の講演、講習をしながら主に豪州大学院に於いて個別指導講師を務めてきた。

統合医療的なアプローチで様々な心理療法、代替医療を行い、現在は能力開発トレーニングや障害者教育に従事している。

○アメリカABS「21世紀に貢献した偉大な女性」ノミネート賞

○オーストラリア政府スカラシップ受賞

○脳・認知科学優等学士「クイーンズランド大学」

○応用心理学学士「サウスクイーンズランド大学」

○医療準学士「タスマニア「ATF」

○現所属 株式会社「総合研究所」

日時 平成23年5月14日(土)

午後1時半~5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 J R 京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
 一般 三〇〇〇円
 学生 一〇〇〇円

◎日本サイ科学会創立35周年
 記念大会の論文・原稿募集

シンポジウムテーマ
 「パワースポット」

1976年に日本サイ科学会
 (前身 日本PS学会) が創立され
 てから、今年が35周年目にあたり
 ます。これまで5周年ごとに記念
 大会を開催しており、今年度は通
 常全国大会が催される10月に、「日
 本サイ科学会創立35周年記念大
 会」が開催されます。

詳細な日程・会場やプログラム
 は今後の「サイジャーナル」でお知
 らせしていきますが、今回行われ
 るシンポジウムのテーマは近年メ
 デイアや書籍で大いに話題になっ
 ております「パワースポット」に決
 定致しました。

日本サイ科学会は1975年に
 分科会のサイ実測研究会が、中国

元極学の張志詳会長を日本に招い
 て東京や長野県で講演会を催した
 ときに、長野県の長谷村(現在伊
 那市に合併)にある分杭峠が元極
 学の基地に匹敵するパワースポッ
 トであるという「お墨付き」をい
 だいたことがきっかけで、現在日
 本でも有数のパワースポットとし
 て分杭峠に多くの人々が訪れてお
 ります。

そのことも含めまして、パワ
 スポットの現状や科学的な立場で
 検討するシンポジウムをプログラ
 ムのメインテーマに致しました。

そこで会員の皆様からもパワ
 スポットに関する貴重な体験やレ
 ポート、科学的な立場からの検
 証・論文等を募集することになり
 ました。それは当日配布される予
 稿集や今年度発行の論文集「サイ
 科学」にも掲載されます。

9月15日までにA4版(40字×
 40行)6枚以内で一太郎かワード
 のデジタルファイルを送信願いま
 す。内容がふさわしいか否かの審査は
 ありますので、ご了承願います。

●原稿送信先
 office21@psj.mail-box.ne.jp

関西日本サイ科学会
 三月例会のお知らせ

「日本人の生き方と
 21世紀の未来」

日時 平成23年3月19日(土)
 午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
 六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
 北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
 一般 三〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
 四月例会のお知らせ

「誰でもできる
 一日でできる気の活用」

講師 芳野 武人氏

日時 平成23年4月9日(土)
 午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
 六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
 北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
 一般 三〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

第13回宇宙生命研究分科会
 アセンション・シンポジウム

第4回ヒピクラテス・シンポ
 ジウム・スピリチュアルな健
 康とは何か?

日時 平成23年3月27日(日)

午後1時30分～5時30分

会場 品川健康センター会議室
 品川区北品川3・11・22

交通 03・5782・8507
 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東
 口から東急バス渋谷駅行で
 「新馬場駅前」下車

会費 一般 五〇〇円

会員 一〇〇円(日本サイ

科学会・サトルエネルギー学会・太陽の会・国際問題研究会(会員) ※会員以外の方の参加も大歓迎

第12回宇宙生命研究分科会 報告

第4回アセンション・シンポジウム

日時 平成22年12月21日(火)

午後5時30分～9時30分

会場 品川健康センター会議室

開会の辞 阿久津 淳(科学問題

研究者・世話人)

「皆既月食と大・小周天」

石田 桃子(シンガー&ソングラ

イター)「アセンションと音楽」

川崎 利男(川崎オーブ研究所所

長)「盆踊り群集オーブが訴える

もの」

岩崎 士郎(TSO800 開発者)

「反重力機関への挑戦」

田村 良一(フリーエネルギー研

究家)「反重力機関への挑戦」

ロン・薄葉(スピリチュアルヒー

ラー)「オーブとアセンション」

中津川 昂(サイキックリサーチ

ヤー)「アカシックレコードとア

センション」

質疑応答&パネル・ディスカッシ

ョン

閉会の辞 阿久津 淳

フトンベルトと巨大な泡

銀河系のフトンベルト説は科学に近いヒトほど信じられていないが、このフトンベルトに取って代わる銀河から吹き出る巨大な泡説が突如浮上してきた。

<http://wiredvision.jp/news/201011/2010111122.html>

われわれが属する天の川銀河の中心から、高エネルギー放射線の巨大な泡が2つ出現していることが、フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡による画像の新しい分析から明らかになった。同望遠鏡による19カ月分のデータから、天の川銀河の、全長が10万光年ある円盤の上と下に、ガンマ線とエックス線の放射による、それぞれ長さが2万

5000光年ある膨らみが出現していることが判明した。

(宇宙生命研究分科会 世話役

阿久津 淳)

六月本部例会報告

水とは・・・水は生体内では勿論のこと自然界でも今我々が考えているよりはるかに重要な働きをしている。

講師 久保田 昌治氏

皆さんは今、水に対してどのようなイメージを持たれているでしょうか。私自身は「水が大切だ、大切だ」と言われている割には、どうもあまり大切にされていないのではないかと、と強く感じております。

例えば、我々の体重で一番大きい割合を占めているのは水ですね。幼児で80%、成人で60%、平均70%と私は申し上げているのですが、体重の70%を占めている水をどうするかによって、我々の健康の増

進やアンチエイジングに重要な要素であると思います。

今の医学・医療にしろ、薬学や生物学にしろ、体重の70%を占めている水の存在を無視して、残りの30%で議論しているのではないかと感じております。

皆さんは空気の組成はご存知だと思いますが、教科書を見ても、窒素が約78%、酸素が約21%と出ております。これは本当でしょうか。テストではこう書かないと点数をもらえないのですが、ここには肝腎の水蒸気が入っていないのです。

水蒸気は確かに気温によって含まれる量がパーセントオーダーで変わりますが、窒素78%、酸素21%というのは、完全な乾燥した空気の状態です。もし水蒸気ゼロの空気があったとしたら、その中で我々人間は生きていけないでしょう。湿度0%の空気では静電気が頻繁に起こり、火災がたちこちで発生しますし、事故は起こりますし、インフルエンザが大流行するでしょう。

私は国立大学で20年非常勤講師をしていましたが、そのときに教えていた学生に「人間は有機体か

無機体か？」と問うと、90%の学生が有機体と答えました。恐らく今そういう問題が出たら、そう答えないと点数がもらえないのでしようが、有機体は炭素が中心でできてくるものなのに、人間の体重で炭素が占めている割合はせいぜい9%なんですね。これに水素と酸素がくっついて、有機物ができてくるわけですが、それらを全部集めても、体重の20%くらいです。それなのになぜ人間は有機体になってしまうのか？いろいろな考えてみますと、体重の70%を占めている水を無視すると、残り30%の20%分は有機物になるんですね。残り10%分は骨その他になります。三分の二が有機物なので、人間は有機体ということになってきます。そういうことで、義務教育でも水の話はほとんど出てきません。高校まで行ってもせいぜい水の化学式がH₂Oだということくらいです。私は化学を専攻しましたが、そこでもまとまな水の話はないのです。従って我々水に対してはよほど意識して勉強しないと、ほとんど分かりません。

例えば、町で売っているミネラルウォーターは六百種類くらいあ

ると思うのですが、どういうミネラルウォーターが自分にとつていいのかほとんど分かりません。浄水器を買おうと思ったときに、どういう浄水器を買えばいいのかも判断できません。丸善出版から要請があった水の百科事典を1997年に出版しましたが、それまで水の百科事典は一冊もなかったのです。その後「水ハンドブック」、「水の基礎知識」、また昨年は「水の総合辞典」をやはり丸善出版から出させていただきました。



研究に関して古い水の考えからすれば今やることは何もありませんが、私が研究している活性水や機能水の範疇に入るものは、まさにこれから研究すべきものなので

す。水に注目するだけで、我が国の33兆、34兆円といわれる医療費の3割は簡単に減らせるのではないかと思っております。

本題に入りますが、水の分子式はH₂Oだということはよく知られておりますが、液体の水は実は非常に複雑なのです。その複雑となる最大の理由は、水分子が水素原子2個と酸素原子1個でできているということに原点があります。

地球上にはいろいろな水があり、塩分が3・5%ある海水、そして河川水、湖沼水、地下水、それから取られる水道水、ほぼ純水の雨水、純水より純度の高いのは半導体産業などに使われる超純水、超超純水があり、そのはるか先に頭の中で考えられる純度一〇〇%の理論純水があります。これらは純度で分類したのですが、最近これ以外に活性水や機能水と呼ばれる水が注目されてきています。これらは「化学薬品」の働きをする水でして、殺菌力のある水とか洗浄力のある水とか植物の生長を早める水などがあります。

地球上に今どのくらいの水があるのかと言いますと、14億立方キ

ロメートルくらいでして、これら的大量の水は地球46億年の歴史の初期の段階から存在し、それ以後ほとんど増えも減りもしないと考えられています。地球上の水の97・5%は海水でして、淡水は2・5%しかなく、しかもそのうちの1・75%は極地に氷として存在していますので、我々が飲んだり使ったりしている水は地球上の水の1%以下なのです。従って地球上の水のもっとも一般的な姿は海水であって、我々の飲んだり使ったりしている水はきわめて特殊な水ということになります。

海にある大量の水は蒸発して、雲となりまた雨や雪となって地上に降り、有史以来大循環を繰り返しています。蒸発した水は純水であり、問題はこの水がどこに降るかが非常に重要になります。世界や日本にある河川の水の組成を測定しても一本として同じものはありません。同じ河川でもその組成は季節変動や日変動さらに時間によっても変動しています。我々が水を扱うときにこれが一番重要なことでして、忘れてはいけません。ある磁気処理装置を取り付けて、Aというビルでは効果があるのに、

Bというビールでは効果がないということが起こり、この機械はおかしいということで裁判沙汰になったこともあり。しかし、ビールによって水の組成が違っているので、効果が違うのは当たり前のことなので。

ビール会社の泣き所は同じ銘柄のビールが季節によって味が変わったたり、作る工場で味が違ってしまふことです。半導体工場と同じ原水から作った超純水を使っているのも、製品の歩留まりが変わってくるのは、その原水の季節変動によるものであつたりします。

日本は火山列島なので、その水はカルシウム成分やマグネシウム成分が少なく硬度が低い(50〜60以下)のに対して、ヨーロッパや中国は海底が隆起した土地なのでカルシウム成分やマグネシウム成分は多く、硬度は100以上あります。日本人が海外で水を飲んでお腹を壊すのは、細菌による場合もありますが、硬度が高い水に慣れていない場合もかなりあります。

ところで元素の周期表で同じ属にある元素は似たような性質を示すように、それは化合物についてもいえます。例えば第14属にあたる

メタンに始まる水素化合物は分子

量が大きくなると融点が徐々に上がっていき、それは第16属にあたる水に始まる水素化合物に關しても同様の性質も持つはずなのですが、水に關してだけはその傾向からかなりはずれています。もし水の性質が傾向通りであれば、分子量から推定した融点はマイナス100度C、沸点はマイナス80度Cとなるはずなのに、実際は0度C(融点)で水から水になり、100度C(沸点)で水から水蒸気になるのです。それはかなり大きな分子量をもった化合物でなければ取らない数値なので、水は単なるH₂O分子の集まりではなく、水分子同士n個の塊(クラスター)の集合で構成されていると考えられます。

そのnが実際のところどのくらいかはつきりは分からないので、その構造もすべて分かっているわけではありません。まったく分からない訳ではなく、測定法が変わるとnが変わってくるということがあります。

1個の水分子は1個の酸素原子に対して2個の水素原子の位置が104・5度の角度で結合しています。水分子は酸素側がマイナス、

水素側がプラスの電荷を持っている電気双極子なので、電子レンジのようにマイクロ波をあてると、これらが振動して熱を発生します。

複数の水分子は陽性な水素原子を仲立ちとして、電気陰性度の高い酸素原子同士を結びつけ(水素結合)、クラスターが形成されます。水の構造ははつきりして、中央のH₂Oに対して、4個のH₂O分子がそれぞれ水素結合で四面体の頂点の位置で結ばれています。これらの水素結合の強さ(水の堅さ)は温度によって影響を受けます。

ところで同じ大きさの球のこれ以上詰められない細密充填(1個の球の周りに12個の球が詰める)における球の占める体積の割合は73%となり空隙は27%となります。

水の場合は1個の分子の周りに4個の分子がありますから、充填率は30%となり、空隙は70%もあります。水の場合は液体の状態から水素結合の切れた割合は11%くらいだと分かっており、充填率は35%くらいとなり、水よりは密度が高くなるので、水は水に浮きます。水の隙間の65%は活性水や機能水を考える場合、非常に重要

になってきます。

では液体の水の構造はどうなっているのか?過去のX線解析や中性子解析の測定によりまずと、5(6個くらい)の水分子のクラスターが有力です。さらに韓国科学技術院の全武植教授は、「水の動的構造のほとんどは五員環構造をとり、生理学的によい水は六員環構造をとった水である」と唱えています。常温近辺では五員環構造と六員環構造の混合物ですが、温度を下げていくと六員環構造が増えていき、雪解け水は六員環構造の割合が多いのではないかと提唱しております。

我々がここで注目しなければいけないのは、これまでは水の物性というのは水の中に溶けている成分によって、決まってくると思われてやってきましたが、全武植教授は水の構造が変わることによって、物性が変わってくると提案しています。これが真理であれば画期的なこととして、ノーベル賞にも値することです。

いずれにしても、水の構造は分子の塊(クラスター)を想定しないと全く説明がつかないわけですので、質量分析計を使って水の

測定をしたデータによりますと、様々なnが存在しており、n=21となるものが注目されています。

N=21のとき、質量は3百数十となり、私自身は今、水のモデルとして、一次粒子としてはnが5とか6となり、それらが組み合わさった2次粒子を作り、それらがさらに組み合わせられて3次粒子も作っているのではないかと。一次粒子はかなり安定していて壊れにくい、2次粒子、3次粒子はすぐ変わる、トータルでnは変わりやすいのではないかと、これが水の構造の解析を難しくしているのではないかと考えております。

また神奈川県の実験から分かるのは、水の温度を上げるとnが小さくなる結果が出ており、氷は構造上nが無限大であり、水蒸気の状態はn=1と考えられるので、水の温度が上がるにつれてクラスターは小さくなる方向だというのが、かなり有力ではないかと考えております。

七月本部例会報告

福島県飯野町『千貫森謎空間』補足・UFO学について

講師 木下 次男氏

は東北生まれの東北育ちで、福島市の町の中で育ちました。現在は合併で福島市に入っている福島県飯野町は、福島市の隣にある人口六〇〇〇人の小さな町ですが、皆さんご存知のように時の竹下内閣が実施した「ふるさと創生事業」一億円の一部を使って、「UFOふれあい館」は1992年に設置されました。

飯野町にある千貫森（せんがんもり）は遠くから見るとピラミッドのようにとても美しい山です。昭和62年に町でアンケートを採ったら、不思議なことに若い人がUFOで町興しをしようと言ったのではなく、当時60、70、80歳くらいの方が東北弁でいうと「おらふの山になんだか光りものが飛んで来る。んじゃ町興しはUFOでやんべえ」と言ってUFOふれあい館の設立が決まりました。

商工会の若い連中が福島から木下を呼ぼうということになり、飯野町で勉強会を二度ほどやりました。千貫森はピラミッドだということと、空に現れる光りものはなぜ飯野町に現れるのかというようなことも含めて、手元に取りました雑誌、写真を持ちこんで解説しました。

平成4年11月3日に「UFOふれあい館」がオープンされました。



私は今年で63歳になりました。昭和22年の2月2日生まれ、二男坊で出身が二小、二中、クラスの出席番号は22番くらいでした。25歳のときに8人の友人と安達太良登山をして、箕輪山の山頂付近で、

8人の友人の足がびたつと止まるほどの近い距離にUFOが出てきてしまったのです。それまで私は天文学に興味をもって天体望遠鏡を作って天体を観測して勉強をしていたのですが、ある日突然説明のつかないものを見てから、ミラクルやミステリーなど不思議なものが全部目に付くようになりました。頭の中が「サイ、サイ」になつてしまったのです。

私が勤めていた会社がオイルショックでなくなつてしまい、31歳のとき自分で喫茶店を開いたので、音楽好き、映画好き、小説好き、芝居好き、写真好きの人々が集まる中に、「UFO見ました」という人が12人集まって、「空飛ぶ円盤研究会」を創ろうということになりましたが、ちょっと怪しい集団と取られそうなので、「星を見る会」という名前で発足しました。

空飛ぶ円盤を見るために天体観測で有名な浄土平まで出かけた、野間追いで有名な相馬の海まで出かけたりました。あるとき12人の中で話がまとまって、福島県の地図の中でUFOを見たというポイントを点々で印をしていって、これを線で結ぶ、また近所でピラ

ミッドだと言われている山に印を
 していつて、これを線で結んでみ
 ようということになりました。そ
 の最終的な話が8分間のビデオに
 まとまりました。「UFOふれあい
 館」ではこれが3Dの映像で見ら
 れるのですが、今日は2Dに変更
 してお見せします。

(ビデオ映像ナレーション紹介)

UFOは果たして本当に存在す
 るのでしょうか。この問いに答え
 るためには、まず私達が住む地球
 そして宇宙全体を考えてみる必要
 があります。私達の太陽系は渦
 巻き銀河の一つである銀河系の中
 にあります。銀河系は二千億個の
 星々(恒星)で構成されており、そ
 の直径は10万年、中心部の少し
 厚い凸レンズのような形をしてお
 ります。また宇宙には銀河系以外
 にもさらに二千億個もの銀河が存
 在していると言われ、宇宙全体に
 おける星の数は計りしれません。

ではこれだけ多くの星々がある
 なかで、地球だけが生命を育み、
 文明を進化させるということは果
 たしてあり得るのでしょうか。む
 しろ私達のような生命体が他の星
 にも存在し、同じときを生きてい

るとは考えられないでしょうか。
 彼らが高度な文明をもちいて既に
 地球にたどり着いているとしても
 何ら不思議ではないはずです。つ
 まりUFOの存在は宇宙の広さと
 同じように無限の可能性をはらん
 でいるといえるのです。

太陽系は銀河系の中心から約二
 万八千光年離れたところにありま
 す。太陽を中心に9つの惑星が同
 じ方向をそれぞれ一定の周期で廻
 っており、その軌道面は半径約六
 十億キロといわれています。しか
 しながら、現在までの調査では地
 球以外の惑星に生命の存在は確認
 されていません。もしUFOが存
 在するならば、それは太陽系以外
 の遠くの星からやって来るのかも
 しれません。

それではなぜ千貫森の周辺で多
 くのUFOが目撃されるのでしょ
 うか。その仮説として第一に千貫
 森のピラミッドのようなその不思
 議な形があげられます。千貫森は
 標高463メートルという決して
 高くない山ですが、四方からは
 つきりと見える美しい円錐形で、
 古来より地理的な目印として利用
 されてきました。その呼び名も、
 「峠山」「たんがら山」など二十種類

近くもあり、この山がいかにも目立
 ちやすい存在であったかを示して
 います。

また千貫森周辺ではコンパスが
 正常に南北を示さないポイントが
 数多く存在し、その地下部分には
 強力な磁場があると考えられてい
 ます。このことからUFOにとつ
 て、山全体が巨大なパラボラン
 テナの役目をしているという説も
 あります。

第2の仮説は飯野町に点在する
 巨石の数々です。「モアイ石」、「ま
 くら石」など30以上にも及ぶ巨石
 が、あたかもピラミッドを守るス
 フィンクスのように千貫森の周辺
 に点在しており、以前よりUFO
 との関連が指摘されています。な
 ぜなら、かつてこの一帯に噴火の
 跡の火山活動があつた形跡がなく、
 それらの巨石がいったいどこから
 やってきたのか説明がつかないか
 らです。

一方、これらの巨石や古くから
 ある古墳、神社などの位置関係に
 不思議な法則があることが浮かび
 上がってきました。それがパワーラ
 イン(レイ・ライン)です。パワー
 ラインとは、それぞれの位置を直
 線で結んだ場合に見いだされる規

則的な配列のことで、20世紀にイ
 ギリスの考古学者によつて発見さ
 れ、このライン上では必ずUFO
 が目撃されると言われています。
 ここ飯野町でも現在では様々な配
 列が発見されており、UFOの目
 撃と深い関係があると考えられて
 います。代表的なものとして、「大
 石板ライン」、「まくら石ライン」な
 どがあります。

巨石の位置で見ると、「舟石・モ
 アイ石・大石」を結ぶことで二等
 辺三角形ができ、「千貫森・長平地
 区の神社・立子山神社」を結ぶと
 正三角形が浮かび上がってくるの
 です。このほかにも多くの配列が
 確認されており、現在も研究が進
 められています。このように千貫
 森はその形だけではなく、巨石や
 パワーラインに囲まれた神秘の存
 在として数多くの謎を私達に投げ
 かけているのです。

「千貫森とUFO」、その関係を
 解明するためには、これからも様々
 な謎を調査していく必要があります。
 しかし、もしUFOが存在す
 るならば、そのヒントをこの山の
 どこかにきっと残してくれている
 はずで、私達はそのヒントを手
 掛かりにUFO、さらには宇宙の

秘密に迫っていきたいと考えています。そして決して遠くはない未来に、UFOはその姿を私達の前に見せてくれるのかもしれない。(ナレーション終了)

飯野町の不思議な流れというのは、先ほど町興しのときにじいちゃん、ばあちゃんUFOで町興ししようということになったのですが、それは都会で生活なさっている方達には、なかなか田舎の建屋の状況を説明しないと、なぜそうなったのかというのが、ちょっと気がつかない点があると思うのです。実は母屋に対してトイレと風呂が玄関を挟んで外にあるのです。そうしますとある年齢になるとどうしても夜中に起きてトイレに行ったり、夏でしたら風呂に入るのに玄関の外に出てまた家に戻るといったパターンになるのです。農業をしている田舎の人は明日の天気が気になるので、そのとき空を見上げると、何か不思議なものを見る機会が多くなるのです。また夕方農作業を終えて、暗くなる頃家路に向かうときに複数の人が空にUFOを見ることがあったので、昭和62〜63年頃、意外に年長

者がUFOで町興ししようというふうになったのが現在の「UFOふれあい館」なのです。

「UFOふれあい館」には一階部分に、UFOの資料が現在は約四五〇〇点くらいあります。

※この後、資料の中の何点かのUFO写真やカセットテープによる貴重なUFO目撃談、DVDによる世界のUFO目撃事件映像の紹介があった。

九月本部例会報告

感じられる「サイ」

— 3種類のサイデバイス・ソフト体験会 —

「瞬間教育ソフト」

講師 浪平 博人氏

我々が「解る」ということを考えるとき、岡潔先生は「形式的に解る」ということと「感覚的に解る」の2つがある、と言われました。

我々は形式的に解ることを教えているわけで、感覚的に解るとは別物であるということです。感覚を通じて教えるというのは真理には到達しないということで、解るといえるのは理性を元にした、形式を通して教えるのが筋である、ということ、その伝統で教育はなされてきました。



今までの教育では手順を記憶し、手順通りに計算できればよいということでした。それは解るといふことと無縁とはいいませんが、大分違います。昔は知っていることに価値がありました。インターネット時代は検索すれば知識はすぐにいくらでも出てきます。

人の行動というのは目的であり、自分中心での展開となります。従って学習というのは、自分の価値座標体系にプロットされたとき初めて実感を伴った理解ができません。従って解るといえるのは、自分が既に知っている概念で説明された物のみが解るのです。だから解るといえるのは、主観的な経験です。従って説明されたことの個々人のもつ視座に沿っての位置づけがなされたとき、初めて物事が解るといふことになります。だから今までのような記憶というものが中心の学問は面白いはずがないのです。だから今のようない教育体系でいろいろ工夫しても何も進歩はありません。

科学技術(機械・装置)によって人間の能力は大いに拡大されましたが、「意味の伝達」という一番大切なことは、個々人の座標に合わせる必要があって、従って同一方法には頼れないのです。従って意味の伝達には、感覚的理解に至る方法、すなわち視覚的理解を目指すのが一番です。

※この後、中学や高校数学の内容をパソコンのソフトを使い、図や

グラフから視覚的に理解させた。

☆ ☆

「脈波のカオス判定器」

講師 苗 鉄軍氏

指先で測定する指尖脈波の測定データをカオス解析して、生体情報を分析する装置です。指尖脈波は心臓の拍動を指先における近赤外線吸収率から捉えたもので、これまでは信号の線形的な解析をしてきたのですが、カオス理論から信号の非線形解析をすると、その人のいろいろな生体情報が分かります。

指尖脈波なので直接的には、血流とか血管に関する情報ですが、そこから心臓・心拍と血流・血管を支配する交感神経、副交感神経の自律神経系に関する情報と、自律神経系を支配する脳の視床下部の活動に関する情報が分かれます。従って、身体に関するいろいろな情報が分かれます。

昔からの中医学において、橈骨脈波の状態を治療師の3本の指で診る「脈診」という技術がありま

す。これによって身体全体の情報が分かれます。従いまして同じような考え方で、指尖脈波から身体全体に関する情報が得られるのは間違いありません。



具体的には指尖脈波の非線形的情報、すなわち3つのレベルのゆらぎです。一つは血管年齢や血管の柔軟性、二つ目は心拍の間隔のゆらぎ（心拍変動ゆらぎ）は循環器の制御系の状態、三つ目は指尖脈波の全体的な変化をカオス解析することで、中枢神経系に関する情報が分かれます。

ゆらぎの定義は簡単に言えば、一種の柔軟性であり、環境に対して闘争的ではなく平和的に調整して柔軟に対応する能力であり、生

体の適応力＝生命力を表す指標です。ゆらぎの記述法は沢山ありますが、実はゆらいでいるものは、量子力学の波動に関する技術と非常に似ています。例えば古典的な動きを全部波におすと量子力学の波動関数を使って記述できるように、指尖脈波をカオス解析のアルゴリズムによって定常解にすることと似ています。

☆ ☆

「サイ・ポテンシャル・メーター」

講師 小林 泰樹氏

人間の潜在能力(PK, ESP)の測定器として開発したもので、特に一般人レベルのPK(念力)が測定できるのが特徴です。

原理は半導体のホワイトノイズを増幅して、あるレベルでのピークを2秒間カウントし、4桁表示させるのが基本動作で、それが奇数か偶数かで緑か赤の発光ダイオード(LED)を点灯させたり、易经の八卦も表示して、運勢診断もできるようにしました。

微小な質量の電子に影響を与えて波形を変化させる原理なので、実際に一般人レベルでのPKに反応します。

例えば赤と青のLED表示は、何もしなければ20回中10回ずつが平均の出る回数ですが、それをどのくらい偏らせるかでPK能力の成績を確率(危険率)で表します。



自分自身や他の多くの被験者の測定の結果、PK能力の發揮は、強いイメージ形成+リラククスしつつ集中した瞬発力+意念のリズムが重要だと分かりました。



第三百五十三回関西日本 サイ科学会研究集会報告

「UFO・パラレルワールド・ アセンション」

講師 浅川 嘉富氏

とき 平成22年11月20日(土)
ところ 大阪科学技術センター

浅川氏は、近年、次々と世界の希有な人物と対談してきている。2012年問題の中心人物であるマヤ最高神官アレハンドロ長老。クラリオン星人と30年間コンタクトを続け、人類誕生の真相を語ったマウリツィオ・カヴァーロ氏。そして、昨春に対談したのがチェコの超能力者で今回の講演の主人公のペトル・ホボット氏。

ペトル氏はかつて旧ソ連の諜報機関KGBに所属し、ウラル山脈沿いの町でUFOとコンタクトを取り続け、タジキスタンの宇宙人基地に招かれたりしたあと、ペル1で20年近くシャーマンとしての修行を積んでいる。

その彼が50時間を超すインタビ

ューで浅川氏に語った内容は、3度にわたるアセンション体験談、宇宙人基地内部の様子、パラレルワールドの実体、ナスカの地上絵とカブレラストーンの真相等驚くべきものであった。

浅川氏は1941年生まれ。東京理科大学・理学部卒。1999年日本火災海上保険(株)の専務取締役在任中、ライフワークである「超古代文明」「UFO」「霊的世界」を完遂のため退任。

近著「UFO・宇宙人・アセンション」真実への完全ガイド(ヒカルランド刊)、「2012年アセンション最後の真実」(学研刊)、「クラリオンからの伝言」(徳間書店刊)

私はUFOの研究を50年近くやっている、最も古い研究者の一人だと思うが、この3年間は先方から情報が次々とやってくるようになった。マウリツィオ・カヴァーロ氏やペトル・ホボット氏との対談がそのよい例である。対談本には大事な内容が含まれているので、何度も読み直して欲しい。

ペトル・ホボット氏はロシアのサンクトペテルブルク大学に推薦入学しているが、それはKGBの

秘密プロジェクトへ参加させられるためであった。彼はウラル山脈のゴルキーという町で、UFOとのコンタクト(幽体離脱してUFOに乗り込むこと)として働いている。

ある時、タジキスタンでUFOとコンタクトしている時、個人的メッセージとして「近くにUFOの基地があるので訪ねるように」というメッセージを受けとる。

そこにいた宇宙人の一人は高次元の洞窟内で瞑想しながら、魂は地球人として一生を過ごしている。地上で暮らす50年は高次元の基地内ではほんの数ヶ月に過ぎない。実際、ホボットが数時間過ごして帰ってみるとひげぼうぼうであった。浦島太郎、かぐや姫の話も本当である(真実の話だからこそ永い年代にわたって伝わっているのだ)。

こういう基地は世界にいくつもあるらしい。陸地にも海中にもある。シャンバラは宇宙人の基地と考えてよい。それは3・5次元というべきでアストラル界に存在している。本当は3次元的な形で現われるのが効果的だがそれは危険である。というのは、中国とソビ

エトの国境付近にあった基地はソビエトが原爆を投下して破壊し、その付近で原爆・放射能被害者が多く出たという事実があるからである。



※ここでスライド紹介

ナスカの地上絵。アマゾンの原住民、シャーマンの一部。アナコンダに巻かれているホボット。

他国の秘密を探り出す方法としては、通常のスパイ行為は下の下である。今は幽体離脱して情報を得ている。ホボット氏は6年間のKGB生活のち身を引き、シャーマンの修行を20年間続けた。彼が直前まで修行していたアマゾン川流域は、浅川氏が野鳥の写真撮

影のため何度か訪れた地と一致していて驚かされた。それゆえ二人の対談は中身の濃いものとなった。

アナコンダ(大蛇)との関係

シャーマンの第一段階は、アヤワスカなどの薬草を飲むことから始まる。次の段階がアナコンダからエネルギーをもらうことである。アナコンダがシャーマンのからだに巻きついている写真を紹介。

彼らはこうしてアナコンダからエネルギーを貰うのだ。シャーマンとアナコンダは普段は別々の場所で生活しているが、お互いにどこにいるかが分かっている。

アナコンダの力を借りて重いお産を軽くすませた女性の話があり、中堅クラスのシャーマンにはそのようなことができるのだという。

ある時アナコンダが漁師の網にかかって苦しんでいるのを見て、ホボット氏が興奮したアナコンダを落ち着かせて網から離してやった。現地人は白人の彼にどうしてそんなことが出来るのか不思議でならなかった。

次に、最高位のシャーマンになると、彼らは宇宙船に搭乗している「星の医者」(ブレアデス人)と

つながって治療する。

ある時、白人が油田を作ろうとしてジャングルを破壊し始めた。それを先住民たちが止めさせようとして白人との戦いになった。槍と鉄砲では差がありすぎて到底太刀打ちできそうもなかったのので、先住民は集団自殺を決意する。彼らは地球に来た目的を知っており、

それはジャングルを守ることであった。それが達成できない状況となったので、無用な戦いを止めて元の星に戻ろうとしたのだ。

そこでペトルがシリウス人とながって、どうしたらよいか尋ねると、諦めずに「身体にバリアを張って戦いなさい」と伝えられた。さらには、村全体にバリアを張る方法も教えられ、鉄砲の弾を避けることが出来た。その結果、攻撃をしていた人々が恐れをなして逃げ帰り、先住民はジャングルを守ることができた。

パラレルワールド

プエルトリコに小さな知的生命体が現われた。これを国連の場で報告しようとしたところアメリカ政府からストップがかかった。彼

らはその生命体が次元の異なるパラレルワールドから出現したことを知っており、それが世界に知られることを恐れたからである。

今、チュパカブラという奇つ怪な動物が出現し話題になっているが、それも時空の扉が開いて3次元世界に出てきたものの一種である。

チュパカブラは山羊の血を吸う。吸った血の中の生命エネルギーだけを吸収し血は吐き出す。そのため山羊の大量死が発生した。古くからアメリカで発生しているキャトルミューティレーションも別次元の生命体による吸血行為である。

ナスカの地上絵

ペトル・ホボット氏からは、学者が主張している地上絵の解釈とはまったく違う話を聞かされた。

彼によると、地上絵には2種類あるという。ハチドリやクジラ、クモといった動物などを描いたものと巨大な幾何学模様である。クジラ、クモ、イヌはそれぞれの部族の家紋で、これらは人間によって描かれたものであるが、幾何学模様は宇宙人により描かれたものである。

両方とも、宇宙からのエネルギーを集散的に受けるために描かれたものである。

ナスカの地から遠く離れたアマゾンやアンデスのシャーマンは胸に家紋のペンダントをつけ、地上絵をイメージしながら瞑想することによって、地上絵から強いエネルギーを得ることが出来た。

エネルギーは上(宇宙)から降りてくるだけでなく下(地球の内部)からも出てくる。上からのエネルギーは 超能力や予知能力を与え、下からのエネルギーは ヒーリングや願望実現に役立つ。

カブレラストーンの話

ペルーのカブレラ博物館には恐竜と人間の共存を示す驚異的な石が展示されている。中には偽物も混じっているが、浮き彫りになっているのは間違いなく本物である。学者は恐竜は6500万年前に滅びており、人類の歴史はたった200万年しかないのだから、両者が共存するはずがないという。

しかし最近発見された恐竜の中には、化石ではなく骨のまま発掘されているものや、更にはその骨の中から血液が発見されているも

のもある。したがって、6500万年前の恐竜絶滅説は間違いであることが分かる。

カブレラストーンをよく調べてみると、そこに彫られた溝の深さは一定しており、長い溝のどこにも刃が飛んだあとがない。それは相当高度な技術で彫られたことを示している。

ホボット氏によると、カブレラストーンの多くはシャーマンがヒールリングに利用したものである。浅川氏が保持している石はカブレラ博士のお嬢さんからプレゼントされたものであるが、それは、浅川氏がかつてペルーでシャーマンであった頃に使っていた石であるという。浅川氏はペルーでたくさんの学校を作っているが、それらもみなこうした石とのつながりによるものである。

アセンションについて

ペトル・ホボット氏はすでに3回肉体を持ったままアセンション(次元上昇)を果たしている。これから先は人間だけでなく、地球そのものがアセンションすることになる。

気になるアセンションの時期に

については色々な説があるが、そんなに遠い未来ではないというが浅川氏の考えである。

☆ ☆

現在の政治、経済の出口の見えない混乱の中で度々聞かされる来たるべき次の時代へのステップとして、今回のテーマ「UFO・パラレルワールド・アセンション」は身近なものに感じられた。著書の一読をお奨めする。

当日の参加者は会員17名、非会員16名、合計33名でした。今回はカセットテープはありません。

今後の予定

3月19日(土) 重松昭春氏「日本人の生き方と21世紀の未来」

4月9日(土) 芳野武人氏「誰でもできる 一日でできる気の活用」

5月21日(土) 瀬尾泰範氏「占星学からみた2012年以降の世界」

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

<サトルエネルギー学会主催 '11春の大会(日本サイ科学会協賛)のお知らせ>

春の大会テーマ 涙と感動 それがサトルエネルギー (大会委員長 矢島 実)

講演・実演者(予定) AKI、岩月 淳、菅太郎、矢島 実、片岡 由季、望月 俊孝、木下 晴弘、鈴木 昭平、木村 まさ子

日時：平成23年3月27日(日)開場10:00 開演10:30 終演18:30

場所：津田ホール 交通：東京JR千駄ヶ谷駅前、国立競技場 隣り

公式サイト URL：<http://www.subtle-eng.com/index.html>

【お申込み】E-mail：uketsuke@subtle-eng.com

FAX 03-5730-6451 サトルエネルギー学会 春の大会係

E-mail または FAX 記載項目：氏名・住所・TEL・チケット(日本サイ科学会会員)枚数、金額
参加費：予約制 協賛団体会員 6,000円 (当日 8,000円)

【振込先】お申込みと同時に下記宛お振込み下さい。ご入金確認後チケットを送付します。

郵便振替振込み先：00170-1-196569 サトルエネルギー学会

お問合せ サトルエネルギー学会 03-5730-6450

の集積地)には低線量放射線の高い値(バックグラウンドの2~3倍)があり、これが、サイ情報源としてのPSI-spinペア(筆者らの仮定)の安定形成に重要な役割を果たしている、と判断するものもある。

以上を基にして、低線量放射線と人工外気と生体の関係を知る為の実験を行った。暗示効果を除く為や、解析が割合に容易であり、しかも人体の60%以上は水であり、水は生命にとって重要である、等の理由から生体の代わりに水をセンサーにした。放射線にはラドン温泉にある岩石や湯花類。人工外気として水晶、無誘導コイル装置を用いた。実験結果の検討と考察から、センサー水の電気伝導率変化値の「正」を修復、「負」を損傷と見ることにした。対象と比較すると、(1)放射線被曝によって損傷が生ずる(約7%)。しかし(2)人工外気と放射線を同時に与えると修復が進行する(約11%)。この時実験範囲内では(3)放射線量が低い程、修復は大になる傾向がある。と言う結果を得た。一方、奇跡的な回復を得る為には、零点(零場)を用いた念力(PK)の実施が必要であろう、と言う結果を得た。

3) サイ現象が生起する過程

呼吸法などを用いて(自律神経支配)、知性や理性を薄め、頭の中の雑念を取り去り(まっしろにする)、リラックス集中を試みる。つまり意識を変性させて零意識にしたいに近づける。そして、ターゲットとしての局所に「念写像形成」をイメージし、命ずる(試みる)。すると、バックグラウンドとしての低線量放射線、並びに体内のチャクラから放出される低線量放射線が、念写形成に使用されるエネルギーとなり、 γ 線の崩壊を介して得られる陽電子が関与して、PSI-spinペア(サイ情報、仮説)が形成され、念球(光子群)が発生する。実験値として得られた念球は複雑系低次元決定論的カオス挙動を示しており、そのフラクタル次元は $D2=1.94\sim 2.25$ であった。D2は雑音数(変数

の数)並びに軌道の形(レスラー系)を示しており、さらに2~3個のチャクラが活性化している事が推定・判断される。このカオス・アトラクターは、意念の働きによって次第に増加し続けるが、相互干渉により、遂には消失して零になる。つまり軌跡の「正」側と反対方向の軌跡の「負」側が干渉して零(両者の和)となり、零場が形成されることになる。念球の発生条件は、体外の零場が活性化して一定値になるという別報と同様、エネルギー一定値条件が必要になる、と推定している。

念球(光子群)発生ののち、意念の働きに従って文字や図、絵が描かれる事になるが、意識(意念)と発生点(局所)の間を連絡するのは、搬送波であり、その上にサイ情報が加算されて運搬されている、と判断している。搬送波については、次節で述べる。

4) サイ情報の搬送波

伝達されるべきサイ情報としてはPSI-spinペア群を想定している。例えば、「上向き電子(正)と下向き陽電子(負)に微細素粒子の(負)と(正)が組み合わせられて(全体として安定な)総ベクトル(スピン)零のPSI-spinとなる」。さらに、これらとは総てが逆方向のspin対が重なりあって「PSI-spinペア」を形成している。このサイ情報源が搬送波に乗せられて体外の局所(未知現象生起点)に伝達される、と判断している。

搬送波としては、縦波(音波、スカラー波)と横波(電磁波)がある。意識と生起点との間の距離が長い場合はスカラー波、短い場合は非聴音としての極低周波、通常の各種の音、音楽等。スカラーは大きさは有るが方向性の無い量で、「正」と「負」を衝突・対流させる場合に発生する。横波には、シューマン・レゾナンス(7~15Hz)、商用電流、通常的生活空間に存在している各種の電波等がある。実験結果から推定すると、発生点周りの総ての波が搬送波に使われている、と判断出来る。

を示した。

つぎの一例として、被験者が体外の物質「不安定な中性子を持つアメリシウム241」に直接サイ(外気)を放射してその変化を調べた実験を紹介する。中国科学院高エネルギー物理学研究所の陸祖蔭は、1987年に、高名な厳新氣功師を被験者にして、Am241(アメリシウム)の原子核の崩壊速度を念力によって変化させる実験を行った。Am241の半減期は458年であり、 α 粒子ならびに γ 線を放出する事によってNP(ネプツニウム237)になる。この時の放出エネルギーは約59.6keVである。実験は6回、外気放出は32試行であった。結果を見ると、原子核の崩壊速度は厳新師の意念により(正)または(負)側に変化している。一般には、崩壊速度は不変な筈なのに、自然崩壊とは別の加速並びに減速の変化がサイ(外気)の作用によって生じている。

他方、上海原子核研究所の顧函森(1981)は、有名な趙偉氣功師が発功(外気放射)した時のサイ(外気)としての放射線をシンチレーションで測定した。結果として、放出されたエネルギーは1~9eV範囲内の約3.5eV域に全高半値幅約4.2eVのピークを持つエネルギー分布曲線になる、と言う結果を得た。以上、代表的な3例を記述した。これらから判断して、放射線と外気(サイ)とは割合に相性が良く、原子核中の不安定な中性子とサイ(外気)は、相互作用しやすいと言う結果が得られる。つまり、意念は、原子核の中の中性子に作用して、原子核を崩壊させて、PK生起に必要なエネルギーを供給している、と判断出来よう。なお、念力(PK)の中でもより重要と思われるものは、生体に対する作用であろう。そこで、次に、低線量放射線が、サイ(外気)と生命体に対してどの様な影響を与えるかについて検討する。

遺伝子(DNA)情報は生命の形成に重要な役割を果たしている。陸祖蔭は、上述の論文で、遺伝子変化の実験を報告している。子牛胸線DNA(遺伝子)と酵母RNAを用い、厳新氣功

師が5~10分間外気発功(被曝)させたサンプルについて、紫外線分光光度計を用いて分子レベルの変化を調べた。DNAサンプルは5個、RNAサンプルは2個用い、発功を15~17回行った。DNAでは257nmに於ける吸収増加があり、RNAでも257nmの吸収増加があった。これは、両者ともDNAの2重らせん構造上の塩基対を連結している水素結合を切断する事を意味している。DNAの切断変化は、良い場合(品質健康改善)と悪い場合(癌の成長)の両者が推定可能である。サイ現象や無意識層についてもほぼ同一の問題がある、と言えよう。

他方、水の無い処には生命も無いという。この重要な水についての筆者らの実験によると、水にサイ(外気)を被曝させて造った気功水の電気伝導率変化の熱活性化エネルギーは約32kcal/molであった。水分子のH-O-HのO-H結合の強さは110kcal/mol、隣接する水分子H₂OとH₂Oの間の水素結合は約10kcal/molなので、サイ(外気)の作用によって弱い水素結合は容易に切断する事が出来、さらに、ラマン分光分析等の結果から判断して、サイ(外気)の作用により、水の分子構造は変化しないで、水の集団構造(クラスター)が変化する事が判ってきた。

未知現象の生起に必要なエネルギーを供給する、と考えられる放射線であるが、放射線被曝はたとえ僅かであったとしても細胞に損傷を与え、身体に良くないと言う主張がある。しかし、僅少の損傷を与えたとしても、生体内の自然治癒力が働いて、免疫力が強化され、損傷が修復される場合には、かえってより健康になるという体験や主張もある。つまり「ホルミシス効果」と言われるように低線量放射線は身体によいと言う主張。並びに「ラドン温泉」と言われる様に、低線量放射線温泉は市民の健康維持に役立っている、と喜ばれている事実もある。また「僅かな毒薬は逆に良薬になる」という言葉もある。要は、未知現象の実験・実施と考察に関しては、注意深く対処する事が強く求められている、と言えよう。一方、断層付近の気場(気



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

サイ現象生起の為のエネルギー条件

佐々木 茂美

1) はしがき

意識と体外の物質が、直接に、相互作用する現象をマクロPK (念力) という。物質を物理的に変化させる場合 (例、メタルバンド)、または光エネルギーによって活性化させる場合 (例、光放射念写) に於けるサイ現象の生起の問題については、その一部は既に報告してある。引き続き本稿では、物質が静的な場合について検討する。このとき、未解決の難問は、“サイ (未知) 現象を生起させる為のエネルギーは何処にあるのか?” であろう。例えば、念写像を形成し、継続・進展させるのに必要なエネルギーをどのように、どこから供給するか、が問題である。この種の試みは、生命体の様々な場合についても応用・適用出来るものと考えられる事が出来よう。本稿は、マクロPKの発生並びに継続に関する若干の問題を究明・考察することを主目的にしている。

2) 放射線実験とサイ (水と生命)

まずはじめに、マクロPKの生起並びに継続・進展に必要なエネルギーは、各種の放射線が担当している、と仮定して検討と考察を進める。文献をみる。物体の原子核の中の中性子が、意念の働きに従って、エネルギーに変換して、マクロPK現象が生起するという研究が「サイ

科学 (Vol.1-3,1977、Vol.3-2,1978)」に紹介されている (関英男記述)。この「念力と中性子」の実験と考察を基礎の一つにして、サイ現象と放射線の関係を調べることにする。スウェーデン人のH.Forwaldが米国Duke大学で1950年代に行った16mm角のサイコロ投下のマクロPK実験と考察が、超心理学会誌に掲載されている。研究は、被験者が、サイコロを落としながら念力を働かせ (精神統一して念じる) て、落ちる場所を決める、という内容である。多数行われた実験結果にはt検定などの統計処理が実施されており、サイコロに働く念力をエネルギーに換算して表示してある。PKの実験結果に及ぼす影響因子として、木材 (赤ぶな) を用いた時のサイコロの表面の粗さ、そのサイコロに貼り付けるアルミ板の厚さ、サイコロ全体をアルミにした場合 (むく)、板の原子の価電子数、アルミ板の原子核、アルミを基準とした時の銅や銀の核子数の影響。鉛、ヘキサメチレンテトラミン、二酸化ウラン等との比較検討、ならびに原子核の安定度との関係。これらの多項目にわたる多数の系統的な実験と解析から、結論としてサイは原子の中の中性子に作用して同位元素としての不安定な中性子からエネルギーを得ていると判断した。つまり対象材料の原子核の中から念力生起の為のエネルギーを得ている事